

2月定例会号

# わかやま 市議会 だより

No.097 令和2年(2020年)5月1日発行

## 目次

- ・特集 語ろう音楽 子供の未来 ..... P2
- ・2月定例会の概要 ..... P4
- ・令和2年度当初予算 ..... P5
- ・代表質問 ..... P6
- ・一般質問 ..... P8
- ・委員会審査の概要 ..... P12
- ・採決状況 ..... P14
- ・議員連盟活動レポートなど ..... P16

子供に与える  
音楽の色合い

特集vol.10

# 語るろう音楽 子供の未来

子供の情操を豊かに育む必要性が求められる今、音楽環境をもっと充実させようと活動されているピアニスト千田和美さんのお話を聞きました。

## 音楽高校があれば

**広報委員** 基礎練習について。

**千田先生** 子供の頃のつらい訓練は、後で必ず役立つと思います。

**委員** 優雅に見えるピアノ演奏ですが。

**千田** コンサートで2時間弾き続けるのはかなりのエネルギーが要るので体力勝負です。

**委員** 学校教育、子供の音楽環境はどうですか。

**千田** 曲を与えられて、正確に鍵盤のところに指を持っていて、できたら正解、それって全然音楽じゃないです。なので、私のレッスンでは、どう思つか、どう感じたのかと必ず聞き出すようにしています。

**委員** 和歌山市内の音楽教育についてどう思われますか。

**千田** 音楽の勉強は、県外に出なければ専門的に学べない、レッスンを受ける機会もないという

## ピアニスト 千田 和美さん

和歌山市出身。桐朋学園大学卒業。インディアナ大学音楽学部大学院パフォーマンス・ディプロマコース修了。全日本ピアノ指導者協会正会員。関西フィルハーモニー管弦楽団、クラブ室内管弦楽団と協演するほか、シヨバン国際ピアノコンクール審査員、同志社女子大学、相愛大学、桐朋学園子供のための音楽教室の講師を務める。



状態です。せめて音楽高校があれば理想的です。ピアノや吹奏楽を習っている子供は多いので、進学する方向が広がるし、需要はあると思います。

## 子供にもっと音楽を

**委員** きのくに音楽祭について。

**千田** 和歌山の音楽文化を向上させようと、様々な分野の方々が集まって和歌山ならではの音楽祭をつくらうと。コンセプトは、和歌山の音楽ファンを増やすこと。それと同時に子供に音楽を聴く機会をたくさんつくる、参加してもらおうことです。10年は続けようと、本年は10月9日から11日まで開催します。

**委員** 文化庁の芸術家派遣事業はどういう内容ですか。

**千田** 文化庁の審査で認められた音楽家が、子供の間近で楽器に触ったり、コミュニケーションしながら音楽に興味を持ってもらう活動です。自分で派遣先を探るので、校長先生、教頭先生の協力が必要です。

**委員** 学校、教育委員会に関しては議会も応援したいと思いますが、どういった授業の扱いになる

のですか。

**千田** 生徒が集まるという形の課外授業となります。調べたところ、和歌山県以外の近畿の他府県では、公立の小・中学校で、年1回以上オーケストラを聴く機会があります。県や市の音楽に対する姿勢が変われば、子供も楽しめるようになると思います。

## この音なに色？

**委員** 子供に音楽をどのように教えるのですか。

**千田** 子供は発想力が豊かで、悲しい音と言うと悲しい表現をしたり、私が弾いて何色かなと問うと、子供はきちんと答えます。音に色があることを意識し始め、それをアウトプットさせる。きれいな音なのか、そうでないのか。ソルフェージュと言って、音楽の色合いとか表情を表現できるように訓練します。

**委員** 今後取り組みたいことは。  
**千田** 聴くだけでなく参加できる、演奏できる場所を増やし、頑張っている子供には、オーディション形式での演奏会も実施したいと思います。



ショパン国際ピアノコンクールの審査員



生徒の発表会／ポプラの会



メディア・アート・ホールでのリサイタル



大学でのレッスン



大阪 ザ・フェニックスホールでのリサイタル



ボランティア活動

## 編集後記

音楽に親しむメンバーでピアニストの千田先生のお話を聞きました。

子供が音楽に触れる機会をもっとつくりたいと頑張っておられる先生の姿に強い熱情を感じました。音楽を身近に楽しめる環境づくり、和歌

山から世界に通用する人材育成、市議会は応援したいと思います。

そして、音楽ははじめ芸術家の方々と市議会がコラボレートして何かを生み出すことができる日を夢見ています。

特集担当：北野 均、山野 麻衣子、川端 康史



## 2月定例会の概要

## 開会

## 2月19日

- ・会期の決定(2月19日～3月24日)
- ・議員発議(花山水系漏水に関する特別委員会の設置1件)、採決、委員の選任
- ・議案説明(報告関係2件、議案32件(補正予算案18件、条例案4件、繰越明許費に関する補正予算案3件、その他7件))

## 2月20日

- ・議案に対する質疑(姫田議員)
- ・議案の委員会付託

## 2月21日

- ・花山水系漏水に関する特別委員会

## 2月25日～26日

- ・総務委員会、厚生委員会、経済文教委員会、建設企業委員会で議案について、審査、討論及び採決

## 2月28日

- ・各常任委員会の委員長報告
- ・反対討論(南畑議員)、採決
- ・特別委員会の委員長報告、審査・調査の終了について採決
- ・議案説明(議案46件(当初予算案19件、条例案26件、その他1件))
- ・議員発議(意見書案1件)、採決

## 代表質問

## 3月3日

各会派の代表者による代表質問

- ・中尾友紀議員、宇治田清治議員、松井紀博議員、中村朝人議員、永野裕久議員、浜田真輔議員、山野麻衣子議員(P6～P7に概要掲載)

## 一般質問等

## 3月4日

- ・山中敏生議員、赤松良寛議員、坂口多美子議員

## 3月5日

- ・森下佐知子議員、中村元彦議員、園内浩樹議員

## 3月6日

- ・藪 浩昭議員、南畑幸代議員、井本有一議員

## 3月9日

- ・追加議案の説明(条例案1件)
- ・中谷謙二議員、中塚 隆議員、姫田高宏議員

## 3月10日

- ・芝本和己議員、寒川 篤議員(P8～P11に概要掲載)
- ・議案に対する質疑(中村(朝)議員)
- ・議案の委員会付託

## 常任委員会

## 3月11日～18日

- ・総務委員会、厚生委員会、経済文教委員会、建設企業委員会で議案について審査

## 3月19日

- ・各常任委員会で議案等について、討論及び採決(P12～P13に概要掲載)

## 閉会

## 3月19日

- ・各常任委員会の委員長報告
  - ・反対討論(森下議員)、採決
  - ・請願(1件)、採決
  - ・追加議案の説明(人事案件1件)、採決
- ※会期を5日残して閉会

## 令和元年度予算(2月補正後)

一般会計	1,641億9,275万9千円 (補正額43億4,933万1千円)
特別会計及び公営企業会計	1,402億6,212万3千円 (補正額△11億7,069万7千円)
合計	3,044億5,488万2千円

## 補正予算の概要

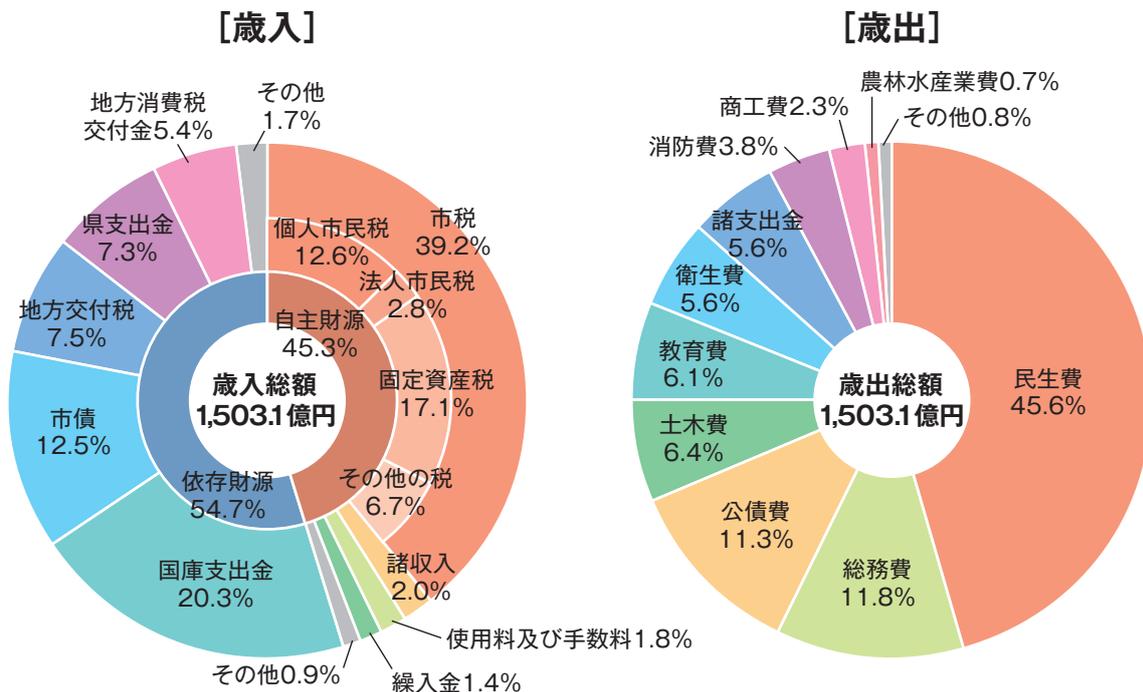
一般会計では、国補正を活用した学校ICT環境の整備、小学校及び中学校のトイレ改修や空調設備整備に要する経費、また、障害者総合支援費の増額、生活保護の扶助費などの精算による国庫支出金返還金などが計上されました。

特別会計(公営企業会計を含む)では、各会計で事業費の決定や精算等による予算が計上されました。

これらの補正予算案は慎重審査の結果、可決されました。

# 令和2年度当初予算

## 一般会計



### 特別会計

989.6億円

### 公営企業会計

400.2億円

### 予算合計

2,893億円

## 地方創生に向けて弾みをつける予算



### 1 安定した雇用を生み出す産業が元気なまち



#### 1 地域産業の活性化

- ・暮らしを支える地域産業の生産性向上
- ・産業を牽引し、支える人材の確保・育成

#### 2 観光の持続的な発展

- ・観光客受入環境の整備
- ・観光誘客の促進

など

### 2 住みたいと選ばれる魅力があふれるまち



#### 1 歩きたくなるまちなか創生

- ・歩きたくなる都市空間、回遊性の創出
- ・交流拠点の整備によるまちなか再生

#### 2 個性を生かし愛着を育む地域づくり

- ・活力を生み出す個性豊かな地域づくり
- ・移住・定住の推進

など

### 3 子供たちがいきいきと育つまち



#### 1 子供を産み育てやすい環境づくり

- ・安心子育てサポート体制の充実
- ・児童虐待防止対策・社会的養育の推進

#### 2 夢に向かって未来を切り拓ける教育

- ・知・徳・体の調和のとれた教育の推進
- ・子供の学びをサポートする体制の構築

など

### 4 誰もが安心して住み続けられる持続可能なまち



#### 1 市民の安心・安全の確保

- ・水道施設の整備

#### 2 豊かで暮らしやすい地域づくり

- ・市民生活を支える道路網の整備

#### 3 誰もが元気に生涯活躍できるまち

- ・誰もが安心して元気に暮らせる環境づくり

など

# 代表質問

各会派の代表者による質問内容の一部を抜粋して掲載しています。



録画中継をご覧いただけます。

※各会派のスペースは、会派の所属議員数によりその大きさが異なります。

## 公明党議員団



なかお ともき  
中尾 友紀

### 新型コロナウイルス対策

**問** 新型コロナウイルスによる感染拡大が続き、国内各地で次々と新たな発症者が確認されている。本市では各種イベントが中止され、経済にも大きな影響を及ぼしている。世界保健機関(WHO)の調査では、感染しても軽症の方が多く、高齢者のほか、高血圧や糖尿病など、基礎疾患のある方は重症化するリスクが高いと言われている。そ

のため、徹底した感染防止と重症化予防の2点が重要であると考えるが、どのような対策をするのか。

**答** 感染拡大防止と重症化予防のため、重症者だけではなく、軽症者についても、医師の判断があれば、全数PCR検査を実施している。今後、軽症者が重症化しないために、PCR検査の充実に努めていく。



### 認定こども園の普及推進

**問** 幼児教育・保育の受け皿を整備し、待機児童を解消することが課題の一つだが、今後の認定こども園の整備についてどう考えるか。

**答** 待機児童の解消のため、認定こども園への移行を推

## 自由民主党市議員団



うじた せいじ  
宇治田 清治

### 統合型リゾート(IR)誘致の方針

**問** 市長は、IR誘致を表明した際、ギャンブル依存症対策の法整備が明確でないことを踏まえ、市民の不安を払拭する方法として、カジノ施設を外国人専用とするのが最善との考えを示してきた。しかし、国の依存症対策が示され、県の厳しい二重の対策が示されたことで、外国人専用ではな

進し、現在、民間の認定こども園は24園となっている。更に令和2年4月に1園移行を予定し、公立においても、本町こども園、芦原こども園が幼保連携型認定こども園として開園する。今後、令和6年度までに公立・民間を併せ、30園の認定こども園を目指し、環境の整備等に取り組んでいく。

くても十分な対策が講じられていないのかと考える。今こそ、県と一緒になって、本市の人口減少対策、観光振興、経済波及効果に大きく寄与するIR誘致に全力で取り組んでもらいたい。市長の今後の方針を含めた決意はどうか。



統合型リゾート(IR)の候補地/マリーナシティ

**答** 外国人専用とすることで事業者が来ないこと、他都市との誘致競争が厳しくなってきたこと、更にギャンブル依存症対策における国の規制や県の対策が充実してきたことなどから、外国人専用とすることが現実的ではなくなってきた。

今後は、県と更に連携を密にし、IRに関する正確な説明を行うとともに、本市にとって、メリットのある

計画を提案する事業者がより多く参画してもらえよう、積極的に誘致活動を進めていく。

## 政和クラブ



まつい のりひろ  
松井 紀博

### 和歌山城前を歩行者天国に

**問** 市役所前広場と紀陽銀行・旧和歌山中央支店敷地を一体化し、市民が憩える空間として整備を進めている。しかし、人々が集う安全な憩いの場とするには、市道中橋線南側を通行止めにし、市役所前からモンテグレ和歌山前までの空間に一体的に含めるべきと考えるがどうか。

また、市役所前の通りで定期的に歩行者天国を実施し、和歌山城前をにぎわい創造の拠点と強く位置づけるべきと考えるが、実現に向けた可能性はどうか。  
**答** 通行止めは、「歩行者にやさしい空間」の創出に有効

な手段と考える。周辺環境に与える効果や影響を分析し、イベント開催時に社会実験をし、実現に向けて可能性を検討していく。

また、和歌山城ホール前などを一体的に活用するため、けやき大通りをイベント開催などに歩行者天国化し、市民が思い思いに過ごせる空間を生み出したいと考えている。しかし、けやき大通りは、JR和歌山駅へつながる幹線道路であり、路線バスも多いことから、イベント開催のルールや公共交通のあり方、周辺道路の活用方法など、一体的に考えることにより、可能性は大いにあり、その実現に向けて努力していく。

日本共産党議員団



なかむら あさと  
中村 朝人

統合型リゾート（IR）

市長は、依存症対策には外国人専用に限るとの姿勢

から「現実的ではない」と事実上撤回した。また、カジノの制度設計に影響力を行

使できる立場で、カジノ解禁に深く関与していた当時の内閣府副大臣の収賄容疑に触れ、誘致の白紙撤回を求めたところ、市長は、大きな経済波及効果や雇用創出など計り知れない可能性があり、本市の今後の発展に必要と答弁した。

水道行政

1月に大規模断水が計画され、広報のあり方や埋没管の維持管理など、様々な課題が浮き彫りとなった。老朽管の更新率は年々低下し、2018年度の更新率は、0.08%と極めて低く、後世にしわ寄せすることのないよう対策を求めたところ、市は重点的に取り組むと答弁した。

社会保障／SDGsの取組

厳しい市民生活を支える社会保障の充実を求めた。また、SDGsの取組に関し、女性の社会的地位向上に向けた正規職員雇用の拡大や賃金格差の是正、職

場復帰の支援について、気候緊急対策として、ゼロカーボンを見据えた取組やごみの資源化及び減量の促進について質した。

民主クラブ



ながの ひろひさ  
永野 裕久

社会資本の老朽化対策

問 1月8日に発生した花山水系漏水の当該管をはじめ、社会生活の基盤となる道路、橋梁、上下水道等、多種多様にわたる生活インフラは、耐用年数を経過したものが多く、今後、老朽化による破損の危険性が高まっていく。それらが短期集中的に順次更新時期を迎える生活インフラの再整備についての理念と、それに対する市長の気概をお聞かせください。

答 ご指摘のとおり、多くの生活インフラが老朽化し、更新時期を迎えた施設が年々増加している。再整備

については、安全性・信頼性を確保するため、これまでの事後保守的な修繕対応から、計画的かつ予防的な対応に転換し、公共施設ごとに長寿命化計画を立て、計画的な修繕や更新を実施することで、予算の平準化・コストの削減を図ることとしている。本市が目指す「誰もが安心して住み続けられる持続可能なまち」の実現のため、今後ともしっかりと取り組んでいく。

公営住宅の見直し

問 石垣、耐震、修繕、城内整備の方向性を定め、慎重に予算を見積り、整備スケジュールとともに市民の理解を得るべきではないか。

答 できるだけ早く方向性を定めた上で提示する。

問 低額所得者への住宅政策として、民間の賃貸に対し家賃補助をしようか。

答 先進都市の事例を調査し、国の交付金や補助制度の活用も研究していく。

和歌山興志クラブ



はまだ しんすけ  
浜田 真輔

気候非常事態宣言

問 気候変動の危機を認識し、対策を講ずる動きが世界中で広まる中、本市も宣言し、取り組んではどうか。

答 住民一人一人が理解し、子供たちが将来安心して暮らせるよう検討していく。

魅力ある和歌山城の整備

日本維新の会



やまの まいこ  
山野 麻衣子

和歌山IIマリンスポーツ！

問 本市に特化した個性ある地域づくりにより、人口定着率を向上できないか。

答 豊かな自然を生かしたマリンスポーツで認知度を高め、人材育成を含めた交流・関係人口を増加させ、人口の定着に努めていく。

ピックアップ

# PickUp! 一般質問

一般質問の概要では、多数ある質問項目の中から、特に市民の皆様へお届けする内容をピックアップした上で掲載しています。



録画中継をご覧いただけます。

※各会派のスペースは、会派の所属議員数によりその大きさが異なります。

## 公明党議員団



そのうち ひろき  
園内 浩樹

### 新型コロナウイルス対策

**問** 集団感染などの緊急事態に備え、全庁を挙げて人的支援がスムーズにできる体制こそ、危機管理であり組織管理であると考えますが、今後のためにもBCP（事業継続計画）を作成すべきではないか。



やぶ ひろあき  
藪 浩昭

**答** 今回のようなケースでは、職場内での濃厚接触による感染拡大など、新型コロナウイルスエンザより多くの前提条件で検討を要するが、今後、関係部局と協力の向上、BCPを策定していく。

**養育費の不払い対策**

**問** 本市のひとり親家庭は、約8割が養育費を受けておらず、貧困問題の現状を考慮すれば、もっと寄り添った施策の充実が必要である。早急に庁内の検討会を立ち上げ、市独自の支援制度を新設してはどうか。

**答** 先進市の取組を調査・研究し、国の動向を注視するとともに、本市の養育費等支援事業をより一層活用できるよう周知する。また、相談者のニーズに合った支援により、子供が健やかに成長できるよう努めるとともに、庁内の検討会を立ち上げ、問題解決に向けて制度を検討していく。

### 重度心身障害児者医療費助成制度の拡充

**問** 令和元年8月から、精神障害者保健福祉手帳1級が当該助成制度の対象となったが、障害の区分や程度を見れば、2級程度まで対象とすべきではないか。

**答** 国の基準によると、精神障害者保健福祉手帳2級は、「必ずしも他人の助けを借りる必要はないが、日常生活は困難な程度のも」となっているため、引き続き県と協議し、解決策を見いだしたいと考えている。

### 防災情報の共有

**問** 本市は、県の防災システムを活用し情報共有しているが、内閣府の基盤的防災情報流通ネットワークを活用することで、更に効率的な災害対応、適確な救援、迅速な復興が期待できる。国・県・市で情報共有できるよう本市に防災情報システムを構築してはどうか。

**答** 当該ネットワークは、県の総合防災情報システムにつながることで、道路情報や医療機関情報など様々な

機能とリンクし、幅広い使いが考えられる。県や関係機関と連携し、迅速かつ効率的な災害対応が行えるよう体制整備を図っていく。



なかつか たかし  
中塚 隆

### 新しい人事行政

**問** 完全フレックス制の導入や昇任試験の受験年齢引下げなど、新しい人事行政に取り組み自治体が増えている。本市も、これまでの概念を脱却すべきだと考えるが、今後どうすれば、より良い人事行政、効率的な働き方ができるのか。

**答** 今年度から多面評価を実施し、管理職員のマネジメント上の気付きを促すなど、新たな取組を始めていくが、更に効果的な取組を進めるため、従来の考え方に捉われない柔軟な発想で、魅力ある職場づくりに努めていく。

### 教職員の働き方改革

**問** 教職員の長時間勤務が

常態化し、「やりがいある職場」が、今では「ブラック職場」とさえ言われている。市長は市の責任者として、働き方改革を具体的にどう進め、教育委員会や学校にどう支援するのか。

**答** 今後、更にIT化による事務作業の軽減、部活動指導員や特別支援教育支援員などの拡充を図るとともに、教職員定数の充実改善や専科指導教員の配置についても教育委員会と連携し、国や県に引き続き強く要望していく。

## 自由民主党市議団



なかむら もとひこ  
中村 元彦

### JR紀勢本線の高架化

**問** 市街地の一体化、通行の安全確保などを実現する一つの手法として、JR紀勢本線の高架化を本市に必要な事業と考えているならば、その計画案を作成すべきではないか。市長は本当に必

要だと考えているのか。

**答** 県、鉄道事業者等との協議や財源確保などが必要であり、計画案の作成は、非常に困難な状況である。まずは、組織横断的なプロジェクトチームなどで検討を進め、JR西日本和歌山支社と共同研究している駅全体の整備構想を決定するまでには、一定の結論を出したいと考えている。



高架化したJR紀勢本線(中之島周辺)

**能力を発揮できる体制**

**問** 定年退職後も本市のために働く再任用職員が、モチベーションを保ち、働ける体制が必要だと考えるが、新たな役割として、専門監や特別監などの職を配置してはどうか。

**答** 能力や経験を生かし、

活躍してもらうことは、円滑な行政運営に欠かせない。

資格や専門知識、高い技術を持って定年する職員には技術継承を期待し、指導や育成を担当するポストに配置するなど、モチベーションを保ち、能力を発揮できる体制に取り組んでいく。



なかに けんじ  
中谷 謙二

**LINEによる情報発信**

**問** コミュニケーションツールとして十分浸透しているLINEを活用し、市民が知りたい情報だけをリアルタイムで受け取れるLINE公式アカウントを本市の情報発信ツールの一つとして活用してはどうか。

**答** 総務省が平成30年度に行った調査によると、LINEの利用率は60歳代でも5割以上、全年代で8割を超え、他のSNSに比べ利用率が最も高く、有効な情報発信ツールであるため、LINEの自治体アカウントの導入に向けて取り組む。

**みんなで足指体操**



**問** 泉大津市では、市民全体で足指の体操等を行い、健康寿命の向上につなげる「あしゆびプロジェクト」に取り組んでいる。取組を継続している方は、転倒しそうなときに踏ん張れたといった声がある。足指を鍛えることで体幹が安定し、正しい姿勢が身に付いたと思われる。このプロジェクトに本市も取り組み、また、その先駆けとして、まずは3分間でできる足指ケアを市民に周知してはどうか。

**答** この取組による効果などを詳しく確認し、現在、本市が行っている介護予防や健康づくりの事業等で紹介できるように考えていく。

**政和クラブ**



しばもと かずき  
芝本 和己

**学校給食の地産地消化**

**問** 学校給食における和歌山市内産の提供率は、目標値42%に対し21.1%で、平成26年度より低下している。市の教育振興基本計画の重点項目である学校給食の地産地消化を推進するため、今後どう取り組むのか。



**答** 可能な限り地元産の食材を取り入れるよう学校や委託業者に指示している。小学校給食では、月1回「地産地消の日」を設けるなど推

進している。今後も、和歌山の豊富な食材を使った食育を進め、地場産物の提供率向上と学校給食の一層の充実を図っていく。

**人事異動のAI導入**

**問** 人事異動は、約4000人の資格や経歴、年齢、希望を把握し、10年先の人材育成を見据え、適正な人員配置が求められる。職員の負担を考えれば、事務の効率化、人員や予算の削減にもつながるAIを他都市に先駆けて導入してはどうか。

**答** 自己申告やヒアリング結果など様々な資料を用いて検討するため、多くの時間を要する。AIは事務の効率化が期待され、民間企業の採用面接や防衛省の人事異動など導入が進んでいるため、今後、費用対効果について研究していく。

**アーティストバンクの整備**

**問** 2021年に和歌山県で開催される国民文化祭は、本市の文化力を高める絶好の機会と考える。そこで、市の文化奨励賞受賞者を登録し、情報交換や情報

共有ができ、市民と受賞者をつなぐ「アーティストバンク」を整備してはどうか。また、市のイベントへの積極的な出演要請など、受賞者が幅広く活躍できるように取り組んでどうか。

**答** 受賞者の功績を情報共有し、各課で行うイベント等への出演など、様々な場面で活躍してもらえようという取り組みと考える。また、受賞者紹介のホームページを見直し、一般の方が出演依頼等を希望した場合の連絡窓口としての役割も担えるようにしたいと考える。そうすることで、受賞者の活躍機会の創出、質の高いイベントを市民の方が体験できる機会の創出につながればと考えている。



日本共産党議員団



さかくち たみこ  
坂口 多美子

介護保険事業

**問** 生活援助の必要性をどう考えているか。ケアマネジメント支援マニュアルに「同居家族がいる場合、原則サービス提供はできない」とあるが、間違った認識で削除すべきではないか。

**答** 利用者の生活を維持するために必要なサービスと考える。マニュアルは、間違つて認識されない記述に改めるよう検討していく。



もりした さちこ  
森下 佐知子

旧同和対策と声原問題

**問** 子ども会や識字教室などの補助金が不正に支出されていたのは、いずれも同和事業に関するもので、チェック機能も自浄作用も働

いていない。根本的な原因を総括するべきではないか。  
**答** 漫然と繰り返したことが原因。全ての市の事業についても、その根拠や運営について改めて検証し、再発防止策を講じる。



みなみはた さちよ  
南畑 幸代

災害対策で要配慮者支援を

**問** 指定避難所の要配慮者スペースを周知するともに、避難方法については、市、当事者、支援者が一緒に考えてはどうか。

**答** 災害時要配慮者登録制度運用の中で説明しているが、今後、情報発信の方法を検討し、周知に努める。避難方法は、地域の特性や実情に合わせた避難支援ができるよう取り組んでいる。



いもと ゆういち  
井本 有一

水道行政

**問** 老朽管路の更新計画をどうしていくのか。

**答** 配水管更新事業を拡充し、重点的に取り組み、更新率向上と維持に努める。

改良住宅の空き家

**問** 空き家の公募が実施されたときは、和歌山市民は応募資格があるのか。

**答** 地域住民の居住の安定確保のため、現時点で公募にすることは考えていない。



ひめた たかひろ  
姫田 高宏

新型コロナウイルス対策

**問** 市の検査体制能力は1日最大40検体だが、増やすことはできるのか。また、増やすつもりはあるのか。

**答** 検査能力を増やすには、技術を持った検査員と機器が必要である。PCR検査は1回の検査に2名の検査員が必要なため、検査数が多くなれば、過去にPCR検査を担当した職員を新たに訓練し、その応援により検査体制能力を増加させる。

民主クラブ



やまなか としお  
山中 敏生

不妊治療費助成制度の拡充

**問** 子供が産まれることで、消費の拡大、労働力の増加など、本市に及ぼす経済効果は大きく、不妊治療費助成にかけられる費用対効果は高いと考える。他都市では不妊治療に伴う助成金の増額や所得制限の撤廃など、制度の充実に努めている。本市も試験的な取組を視野に入れ、まずは数値や費用対効果等を調査してはどうか。

**答** 今後も国の動向を注視し、本市の申請データも調査するなど、より多くの夫婦が治療に踏み出せる支援策を研究していく。

本市の財政状況

**問** 本市の市債は3508億円にもなっており、市民一人当たり計算すると借金が100万円もあることになる。令和6年度までマイナス収

支が続き、預金に当たる財政調整基金の取崩しが見込まれる中、「誰もが安心して住み続けられる持続可能なまち」を実現できるのか。

**答** 歳入の確保や事務事業の見直しによる効率化、費用対効果の向上などに努め、更なる収支改善に努める。



そうがわ あつし  
寒川 篤

**今こそ組織力の強化を**

**問** 市長一人では何もできない。新型コロナウィルスの拡散等により世間が不安に包まれている今こそ、職員が一丸となるためには、市長のリーダーシップや思いが全ての職員に伝わるのが絶対不可欠だと考える。本市の発展のため、市長自ら率先して職員との「コミュニケーション」をとる中で、真のリーダーシップを発揮すべきではないか。

**答** これまで多くの職員とともに、本市の待ったなしの課題に取り組むことで、少しずつその芽は出つつあ

る。新しいことをしようとするれば、必ず反対もあり、失敗もある。これまで眠れない、情けない思いを何度もしてきたが、本市は今、歩みを止めるわけにはいかない。そのためには、職員が共感して、同じ方向に進むという組織力が大事であり、私の信念でもある。また、組織を強化するのは人だと常々考えている。今後は、反省すべきところは反省し改めることで、オール和歌山市の体制となれるよう取り組んでいく。

**和歌山興志クラブ**



あかまつ よしひろ  
赤松 良寛

**キャッシュレス化の推進**

**問** 本庁での現金取扱いは年間約41万件あり、その約半数が市民課での戸籍謄本、住民票等の手数料である。キャッシュレス化により、市民の利便性が向上すると考えるが、有用性や課

題を研究してはどうか。

**答** 今後、先進導入自治体における対応の状況などを調査、研究し検討していく。



市役所1階 市民課の窓口

**市職員のやる気を喚起する環境づくり**

**問** 市職員が新しいことに挑戦しようとする姿勢が必須だと考えるが、やる気を喚起するための風土づくり、環境づくりについて、市長の考えはどうか。

**答** 公務員が陥りがちなことの一つに、事なかれ主義、前例主義がある。私自身も新たなことをしない、できるのにしないことはトップとして大きな罪と考え、職員にもリスクから逃げず、どんどん新しいことに挑戦するよう伝えている。

人事異動の取組としては、新規採用職員はほぼ全員、希望の部署にまず配置し、一般職員も希望部署に可能な限り配慮している。さらに、忙しすぎる部署は新たなことに取り組む余地がないため、徹底した業務の見直し、思い切った全部署の人員の見直し、年間の中で局内異動、併任も活用し、仕事量の平準化に努めている。守りに入らず、常に前向きで新しいことにチャレンジできる職場風土となるよう、今後も心掛けていく。

**声の市議会だより**  
(市議会だよりの音声版)

市議会の活動をより一層知っていただくために、声の市議会だより(市議会だよりの音声版)を作成しています。

ご希望の方は、議会事務局 議事調査課  
☎435-1120 までご連絡ください。

**花山交差点内で発生した漏水に関し集中審査を行いました!**

本年1月8日に発生した国道24号花山交差点内の漏水は、市全体の5分の1に相当する約3万5千世帯に影響を及ぼす大規模な断水計画の発表となったが、最終的にその断水は回避された。しかし、市民生活や経済活動等に多大な混乱を招く結果となり、市議会では2月17日に全員協議会を、また2月21日には花山水系漏水に関する特別委員会を開催し、各議員、委員から質疑が交わされました。



漏水修繕工事

# 概要の審査委員会

## 総務委員会

当委員会に付託された議案9件について、慎重審査の結果、可決すべきものと議決されました。なお、令和2年度の主要事業については、次のとおりです。

**和歌山城前広場整備事業**1億4993万9千円について。これは、和歌山城ホールと連動して食べ歩きができ、にぎわいがある空間を創造するため、紀陽銀行中央ビル移転後の残地を含む市役所南側広場を（仮称）城前広場として整備するものです。

**サイクリング拠点の整備**379万5千円について。これは、千葉県銚子市から和歌山市までの沿岸部を結ぶ約1400kmのサイクリングロードである太平洋岸自転車道について、ナショナルサイクルートの指定も視野に入れて、案内看板や路面標示など整備が進められており、本市においても、終点地である加太港にモニメントを設置し、訪れた方がSNSなどを通じて発信してもらえような拠点整備を行うことで、地域の活性化を図るものです。

**SNS、動画共有サービス等を通じた魅力発信**1195万5千円について。これは、本市への誘客・移住・定住に寄与する番組を制作

し、インターネットでも視聴してもらうことで市内外に広く魅力発信するものです。

**防災行政無線の再整備**4億9141万1千円について。これは、防災行政無線の可聴範囲拡大に向け、子局の新設及び更新を行うものです。

なお、審査過程において、令和2年度組織改正について、雑賀崎の古民家活用に係る進捗状況について、和歌山市自転車活用推進計画の策定について、シェアサイクルの推進について、IR（統合型リゾート）について、（仮称）城前広場整備工事について、執行部からそれぞれ報告があり、これらに対し、各委員から意見、指摘及び要望がありました。



防災行政無線

## 厚生委員会

当委員会に付託された議案29件について、慎重審査の結果、可決すべきものと議決されました。なお、令和2年度の主要事業については、次のとおりです。

**私立保育所等への障害児の受け入れ促進**3988万8千円について。これは、特別な支援が必要な児童が年々増加していることから、より一層、保育環境の充実と受け入れ促進を図るため、私立保育所等に対する加配保育士の補助割合を引き上げるものです。

**こども総合支援センターの強化**202万1千円について。これは、全ての子供とその家庭及び妊産婦を対象に、前向き子育てプログラム養成講座、就学前児童等への啓発プログラム、年代別の養育に関するパンフレットや育児用品の配布、児童関連団体との連携を通して、寄り添う支援を強化し、虐待の未然防止につなげるものです。

**子どもの学習・生活支援**296万8千円について。これは、生活困窮世帯の中学生を対象にした学習支援により、学びの習慣づけを行い、貧困の連鎖を防止するものです。

**自殺未遂者への支援**264万円について。これは、自殺未遂者の再

企図を防ぐため、保健所が個別支援を行い、医療や福祉の関係機関等とネットワークを構築して「生きる支援」を推進するものです。

**肺がん集団検診の無料化**303万5千円について。これは、オプトアウト方式による効果的な受診勧奨を行うとともに、肺がんの集団検診を無料にすることで受診率向上を図るものです。



なお、審査過程において、和歌山市立芦原共同浴場の指定管理、新型コロナウイルスの現況と対応、和歌山市保健所運営協議会、西庄ふれあいの郷の都市公園化、隣接5市町での一般廃棄物（ごみ）の相互支援協定の締結、太陽光発電事業の進捗などについて、執行部からそれぞれ報告があり、これらに対し、各委員から意見、指摘及び要望がありました。



委員会の模様をインターネットで配信しています！

QRコードから録画中継がご覧いただけます。

## 経済文教委員会

当委員会に付託された議案15件について、慎重審査の結果、可決すべきものと、請願については不採択すべきものと議決されました。なお、令和2年度の主要事業については、次のとおりです。

ふるさと観光大使記念ギャラリーの拡充66万円について。これは、和歌山市ふるさと観光大使のHYDE氏の就任を記念して市役所本庁舎1階に設置した記念ギャラリーの充実を図るため、HYDE氏ゆかりの品を購入し、市民はもとより、見学に来られるファンの皆さまの満足度向上に努めるものです。

第20回(仮称)和歌山ジャズマラソンの開催2126万2千円について。これは、ハーフラソンのスタート位置を和歌山城周辺に変更するとともに、前夜祭コンサートに協賛することで大会をPRし、リピーター参加者だけでなく新規参加者も呼び込むことにより、観光誘客につなげていくものです。

加太船着場公衆トイレの建て替え700万円について。これは、老朽化及び衛生面の向上に対応するため、既設上屋を解体し、快適性及び機能性に優れたユニットトイレを新設するものです。

英語教育の推進4384万7千円について。これは、和歌山市立小・中・義務教育学校へALTを増員し、担任や教科担当教員とのチームティーチングを行い、児童生徒の英語力の向上や国際理解を深めるための教育を充実させるものです。



ALTによる英語教育の様子

市立和歌山高等学校のトイレの洋式化6186万2千円について。これは、教育環境の改善のため、トイレの洋式化と多目的トイレを導入し、学校生活の充実を図るとともに、避難所機能を強化するものです。

なお、審査過程において、新型コロナウイルス感染症への対応、和歌山市文化芸術基本計画の検討状況、有吉佐和子邸の復元に係る進捗状況、博物館基本計画の策定状況などについて、執行部からそれぞれ報告があり、これらに対し、各委員から意見、指摘及び要望がありました。

## 建設企業委員会

当委員会に付託された議案35件について、慎重審査の結果、可決すべきものと議決されました。なお、議案の主なものについては、次のとおりです。

城北公園地下駐車場の整備1001万円について。これは、市営駐車場を利便性の高いフリッジ駐車場として形成することで、またなかに歩行者中心の空間を創出するため、城北公園地下駐車場エレベーター設備の更新工事を行うものです。

京橋親水公園と歩道整備7534万3千円について。これは、市堀川北側の市営京橋駐車場の区域を活用して、芝生広場や噴水等を備え、水辺をより身近に感じることのできる親水公園を整備するものです。また、令和3年度内に完成予定の和歌山城ホールからぶらくり丁商店街までの導線上に位置する市道城北56号線の歩道整備を行うものです。

配水管更新事業18億2228万5千円について。これは、老朽化した配水管の更新、耐震化を計画的に行い、有収率の向上を図るためのもです。

議案第77号、和歌山市下水道条例の一部を改正する条例の制定に

ついて。これは、近年和歌川終末処理場における流入水質が大幅に改善していることから、製造業又はガス供給業を営む事業者の上乗せ排除基準を見直すものです。

老朽化した空き家の除却促進3000万円について。これは、老朽化して周辺環境に悪影響を与えている空き家を対象として、自ら除却する場合に、除却費用の一部を補助するものです。



老朽管更新の様子

なお、審査過程において、和歌山市自転車通行空間整備基本計画の策定、紀州まちづくりグループの構成団体追加、和歌の浦景観重点地区における届出基準の見直し、都市計画公園の見直し(第2回)、(仮称)城前広場について、執行部からそれぞれ報告があり、これらに対し、各委員から意見、指摘及び要望がありました。





## 委員会調査活動報告

### 経済文教委員会

経済文教委員会では、下関市、熊本市で調査を行いました。下関市では、卸売市場機能を有しながら一般消費者も気軽に魚や食料品を購入できる唐戸市場の運営等について、大型クルーズ船の寄港により、外国人観光客の獲得を目指すクルーズ客船の誘致等についての取組を調査しました。熊本市では、子供の健全な育成に役立てるための家庭教育支援の取組を調査しました。



下関市での行政視察の様子

### 建設企業委員会

建設企業委員会では、長崎市、北九州市で調査を行いました。長崎市では、駅を高架化することによって踏切をなくし、市内の都市交通の円滑化を目指したJR長崎本線連続立体交差事業についての取組を調査しました。北九州市では、安定した水の供給のために、老朽化する水道管の長寿命化対策や緊急時に迅速な対応を可能とする配水管理システムなどの取組を調査しました。



北九州市での行政視察の様子

### 広報委員会

市民に親しみのある議会広報を目指し、西宮市、甲賀市、彦根市で調査を行いました。主な内容は、市のイベントに併せた議会体感ツアーや学生の議会体験、議会広報紙の編集、市民と意見交換するモニター会議やアンケート調査、議場開放の一環として議場コンサートや子ども議会の開催などで、議会広報の新たな取組のきっかけとなりました。



西宮市での行政視察の様子

### 議員連盟 活動 レポート

Vol.16

森林環境保全促進和歌山市議会議員連盟は、森林が有する「水源かん養」「自然環境の保持」など、公益的な機能を持続的に発揮させ、和歌山市の水源地保護等を図るため活動しています。

先日、紀の川の水源地に位置する奈良県川上村から、地元産の吉野杉を利用した和歌山市議会の看板をご寄贈いただきました。



川上村の村長から寄贈していただきました。



次の定例会は、  
6月です!

### ～市議会を傍聴しませんか?～

市議会では、市民の生活に直結する福祉、教育、道路、防災など様々なことについて、審議しています。本会議や委員会は、どなたでも傍聴することができます。ぜひ、傍聴にお越しください。

### ご意見・ご感想をお待ちしております

#### 和歌山市議会広報委員会

【委員長】西風 章世    【副委員長】丹羽 直子  
 【委員】中村 朝人    赤松 良寛    山中 敏生  
          川端 康史    山野 麻衣子    坂口 多美子  
          藪 浩昭    古川 祐典    北野 均  
          佐伯 誠章

〒640-8511  
 和歌山市七番丁23番地  
 和歌山市議会広報委員会 宛  
 TEL : 432-0022 (議会事務局)  
 FAX : 424-9276  
 Mail : gikaidayori@city.wakayama.lg.jp



和歌山市議会ホームページ    
<http://www.city.wakayama.wakayama.jp/gikai/>

地球環境保護のために、  
 植物油インキを使用しています。

